

ヤングケアラーって何だろう

～子どもが「自分らしく生きる」ために～

1 学習対象
教職員

2 ねらい

ヤングケアラーとは何か、事例をとおしてその状態について知る。さらに、担当している児童・生徒がヤングケアラーのような状況なら、どのような支援が必要か考え、関係機関等と連携して支援につなげるなど、適切な対応ができるようにする。

3 準備するもの

- ワークシート
- パソコン
- スクリーン等、一斉に動画を視聴できる機器（または一人一台）

4 解説

ヤングケアラーそのものの実生活を送っている児童・生徒がいる可能性があります。そのため、視聴した動画をもとに、学校で児童・生徒がどのような場面で支援の必要なヤングケアラーだと捉えることができるのか、教職員同士で話し合う展開を設定しています。

一方で、家族の一員として「お手伝い」することは家庭生活を協力して営む上で大切なこととして、共通理解を図ることが望まれます。家族を支えることが問題なのではなく、過度の負担により、学校生活等に支障をきたし、子どもらしい生活が送れない場面があるのかを、児童・生徒自身が振り返って自覚する指導が今後求められます。人権学習ワークシート集Ⅷ（高校編 第17集）のP71～75に、ヤングケアラーにかかる指導資料（資料A）があるので参照し、児童・生徒への指導に活用してください。

5 進め方（展開例） 50分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 10分	◆学習の確認（3分） 授業の流れや留意点の説明を聞く。	- 授業の流れを簡単に説明する。 - P4【学習の約束】を伝える。	
	◆アイスブレイキング（7分） 「ヤングケアラーって何だろう」 資料Bを視聴し、資料Cにある10のイラストを見て、身の回りでヤングケアラーかもしれないと考えられる事例をワークシートに書く。	- ワークシートを配付する。 - ヤングケアラーについて、身近な事例について考えることで、自分事として捉えるよう促す。	- ワークシート - 資料B - 資料C
・ヤングケアラーがどのような状態か、動画やイラストをもとに知り、理解する。			

展開 30分	◆アクティビティ（30分） 「ヤングケアラーについて知り、なぜ深刻な問題なのか理解する。」 ①資料Dを視聴し、ヤングケアラーがどうして深刻な問題なのか考える。 ②動画で話されていた内容をもとに、ヤングケアラーをどのように支援につなげるのかを考えて、ワークシートに書く。 ③記入した考えをもとに、5人程度のグループでお互いの意見を伝え合う。	- 動画をスクリーンに投影するなどして、一斉に視聴させる。 - 動画をもとに考えたことを記入してもらう。 - 資料Eについて説明する。 - 時間があればグループで出た意見を全体で共有する。	- 資料D - 資料E
まとめ 10分	◆まとめ（10分） - ヤングケアラーについて、今日の研修で学んだことをワークシートに書き、全体で共有する。 - まとめの話を聞く。	出された考えや記述をもとに、ねらいをおさえ、まとめる。	
・ヤングケアラーについての現状を知り、教職員が指導の場面で適切な支援につなげていくことが大切だと確認する。			

<参考資料など>

資料 A 「人権学習ワークシート集Ⅷ 一人権教育実践事例・指導の手引き（高校編 第17集）ー」
神奈川県教育委員会教育局行政部行政課（令和4年3月）

資料 B 動画「子どもが子どもでいられる街に。ヤングケアラーって、知っていますか？」（30秒）
厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>

資料 C 「ヤングケアラーについて ヤングケアラーとは」
厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/stf/young-carer.html>

資料 D 動画「武井壮×元ヤングケアラー特別対談～ヤングケアラーって、知っていますか？～」
厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/young-carer/>

資料 E 教職員向け資料「ヤングケアラーの現状と支援のあり方」
神奈川県教育委員会教育局支援部学校支援課（令和4年3月）
<https://www.pref.kanagawa.jp/documents/78275/20220331.pdf>

ヤングケアラーって何だろう ～子どもが「自分らしく生きる」ために～

名前（ ）

- 1 資料を参照し、身の回りでヤングケアラーかもしれないと考えられる事例を書きましょう。

- 2 動画の内容をもとに、ヤングケアラーをどのように支援するのか考えて書きましょう。

- 3 ヤングケアラーについて、今日の研修で学んだことを書きましょう。